

は し が き

学問に王道なし、「受験に王道」あり。

受験対策書といってもいろいろな書籍が出版されていますが、本書は「合格すればOK」というアプローチで書きました。

しかし、本書は2次試験突破、最終合格を視野に入れ、「本質」が理解できるようにも説明しています。

特長1 試験に出る問題を重視

経済の試験問題は大問全4問で出題されます。第1問はミクロ経済（ほぼ全15問、24点）、第2問はマクロ経済全般（ほぼ全20問、35点）、第3問は金融市場と金融政策（ほぼ12問、13点）、第4問は国際マクロ経済（ほぼ10問、18練）と四分野に分けて、正誤の四肢択一問題形式（一部、計算問題あり）で出題されています。これらの問題に対処するため、各項ごとに ⇐⇒ **試験に出る** のマークで示し、対処できるようにしてあります。必ず理解して下さい。

特長2 試験に出る公式

特に、毎回のように出題されている重要な項目、式には「試験に出る公式」として、何を学習すれば合格できるのか学習目標を明確にしています。

特長3 ビジュアルに説明

用語・公式をそのまま記憶するのはなかなか大変です。短期間に合格に必要な知識を「確実に記憶」するには、図や表（映像によるイメージ）の形式で整理し、ビジュアル的に暗記する以外にありません。

兎に角「合格すればOK」をコンセプトに初めて学習される方であっても必ず「合格」できるよう「やさしく説明」してあります。

拙書が受験生の皆様の合格の一助になれば幸いです。

2009年10月

朝日奈 利頼